



第63回秋田県消防操法大会

消防秋田

題 字
初代会長 松 野 盛 吉

発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋 田 県 消 防 協 会
会長 樋 渡 徹
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail: ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubaraainsatsu.co.jp>

第63回秋田県消防操法大会は8月22日(土)、秋田県消防学校(由利本荘市)において行われました。

開会式では、佐々木直人 秋田県総務部総合防災課消防保安室長による主催者あいさつ、木内英明 秋田県消防学校長から審査長指示があり、小坂町消防団第4分団亀田憲人部長が選手宣誓を行いました。

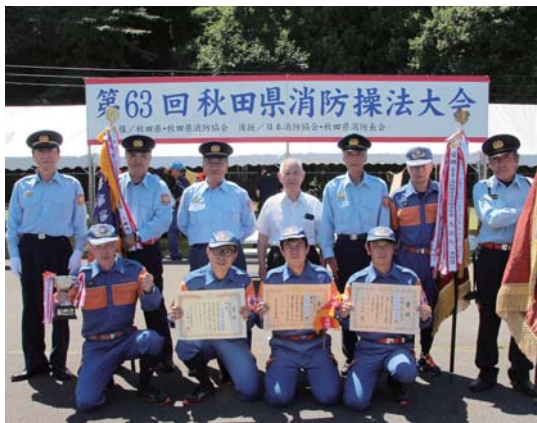
今年度は、操法大会運営の見直しの一環として、全国大会に出場が割り当てられている「小型ポンプ操法」一種目の実施となり、各支部代表の9分団が出場し、日頃の訓練の成果を競いました。

その結果、鹿角支部代表の小坂町消防団第4分団チームが優勝に輝きました。全国大会は、10月31日に東京臨海広域防災公園で開催されます。

関係各位のご協力により円滑な運営を行うことが出来ましたことに心から感謝申し上げます。



選手宣誓



小坂町消防団第4分団



2026年度全国統一防火標語
火の確認
いい日を支える
いい習慣

競技審査の講評

◎大会審査班長

秋田県消防学校 草薨 聡

今年度は、全国大会出場種目の「小型ポンプ操法」に絞って開催され、大会運営の大幅な効率化が図られ、競技の円滑な運営が実現できたことに對し、関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

競技全体を通して、各隊とも日頃積み重ねてきた集大成として非常に高いレベルのタイムが記録されており、全国大会出場に向けた熱い情熱と士気の高さが存分に伝わる大会となりました。

どの隊もタイムの伸びが著しく、スピード感あふれる圧巻の操法が展開されました。一方で、スピードを意識するあまり、基本となる規律や節度の乱れが一部で見受けられました。さらなる練度の向上に努めていただきますと思います。

また、一部の隊で「規定圧力送水」が見られましたので、安全管理及び操法要領遵守の徹底を今後の重要な課題として捉え、日常の訓練に活かしていただきたいと思います。

秋田県代表として全国大会に出場される小坂町消防団チームにおかれましては、「迅速性」のみならず「確実な基本動作・規律」と「安全な圧力管理」を両立させ、全国の舞台で更なる高みを目指して精度の高い操法を磨き上げられることを心より期待しております。



大会成績表 (優秀選手)

出 場 団 名	操作員	氏 名
小坂町消防団第 4 分団	指揮者	亀 田 憲 人
美郷町消防団第 2 分団	1 番員	櫻 尾 一 貴
横手市消防団十文字支団第 3 分団	2 番員	高 橋 和 稔
にかほ市消防団第 6 分団	3 番員	佐 藤 滝 二

大会成績表 (小型ポンプ)

出 場 団 名	順位	得点数	タイム
小坂町消防団第 4 分団	1	89.0	40.84
にかほ市消防団第 6 分団	2	88.0	41.65
三種町消防団第 4 分団	3	85.0	44.61
横手市消防団十文字支団第 3 分団	4	83.0	41.79
美郷町消防団第 2 分団	5	82.5	41.96
東成瀬村消防団第 3 分団	6	80.0	44.40
大館市消防団第 10 分団	7	79.0	47.89
秋田市消防団飯島分団	8	77.0	44.29
井川町消防団第 2 分団	9	69.5	45.15



災害の防止と

消防活動の安全を誓う

令和 8 年度殉職消防職・団員慰霊祭

令和 8 年度 (第 99 回) 殉職消防職・団員慰霊祭が、9 月 3 日 (木) 秋田市千秋公園の八幡秋田神社で行われ、遺族 11 名のほか、来賓、消防協会役員など約 40 名が参列しました。

樋渡徹秋田県消防協会長が、「ここに合祀されている 48 柱の御霊が不屈の消防魂で職責を全うされたその崇高な精神は、県内消防人の鑑であり、我々消防人は、地域住民の安全・安心のため最善を尽くすことを誓います。」と祭主祭文を奏上しました。



来賓を代表して神部秀行秋田県副知事が、「志半ばで殉職された無念や、最愛の御家族を突然失われたご遺族の皆様の深い悲しみをお察しいたしますと、悲痛の思いを禁じ得ません。改めて、殉職された方々に敬意と感謝を表し、御遺族の皆様にお悔やみを申し上げます。」と慰霊の言葉を述べました。

続いて、玉串奉奠が行われ、樋渡会長、遺族を代表して門間文一様 (潟上市)、来賓の方々が御霊の冥福を祈りました。

全国消防殉職者慰霊祭

(公財) 日本消防協会

第45回全国消防殉職者慰霊祭は、9月10日(木)、日本消防会館(東京都港区)で行われ、冲山仁日本消防協会長、高市早苗内閣総理大臣、林芳正総務大臣に続き、ご遺族を代表して渋井寛之様が追悼のことばを述べました。

本慰霊祭では、新たに4名が合祀され、殉職者の御霊は、5799柱となりました。



本県の関係者(慰霊碑前で)

第80期初任教育学生 殉職消防組員招魂碑を清掃

秋田県消防学校

秋田市千秋公園本丸に建立されている「殉職消防組員招魂碑」の清掃は、毎年、秋田県消防学校初任教育課程の教育の一環として行われています。

今年も9月3日(木)の慰霊祭に先立ち、8月18日(火)に53名の学生によって行われました。

碑内の枯れ葉やゴミを除去したり、雑草などを取り除いたほか、碑に付いたコケなどの汚れを洗い流したあと、全員が招魂碑に黙とうを捧げました。

学生の皆さん、ありがとうございました。



第31回全国女性消防団員 活性化北海道大会開催

第31回全国女性消防団員活性化北海道大会が、9月25日北海道札幌市で約3千人の女性消防団員が参加し開催されました。

本県では、5消防団から15人の女性消防団員が参加しました。

大会では、活動事例の発表や防災防火啓発劇、パネルディスカッション、記念講演が行われ、参加者は熱心に耳を傾けました。





秋 田 県 消防学校

初任教育第80期修了式

53名修了 第一線での活躍を期待

秋田県消防学校第80期初任教育の修了式が9月17日(木)、同校の屋内

訓練場で、来賓や修了生の家族などが出席して行われました。

53名の修了生は、6ヶ月間の厳しい訓練を乗り越え、明日から、それぞれの所属消防本部に着任し、消防士として活動します。

修了式は、木内英明 学校長が修了生一人一人に修了証書と成績優秀者に表彰状を授与した後、神部秋田県副知事挨拶、佐藤秋田県消防長会会長・樋渡秋田県消防協会会長が祝辞と述べ、修了生代表が答辞を述べ校歌を合唱して終わりました。

表彰状授与

■優 秀 賞 (5名)

秋田市消防本部

秋田市消防本部

北秋田市消防本部

横手市消防本部

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

小松 飛翔

佐々木 桜太

菊地 秀虎

眞田 空

富樫 快飛

■功 労 賞 (5名)

総 代 秋田市消防本部

副総代 横手市消防本部

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

坂本 春空

本間 凜子

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

齋藤 蒼維

学校長式辞 (要約)



秋田県消防学校
学校長
木内 英明

皆さんはこの半年間、寝食をともにし、夢を語り合い、友情を深め、時にはライバルとして切磋琢磨し、時には仲間として励まし合った絆は、これからの消防人生において、大きな財産となるはずです。

皆さんは、明日からそれぞれの所属に戻り、第一線の業務に就きます。これから、多くの厳しく困難な現場が立ちあがることと思います。しかし、世代を超えて築かれてきた消防精神を胸に、各々が自分の役割を果たし、仲間と一致協力して立ち向かうことにより、必ずや乗り越えることができるでしょう。

各消防本部、そして地域住民の方々が皆さんの活躍を待ち望んでいます。「人を助けたい」「地域の安全を守りたい」「故郷に貢献したい」。

消防を目指した初心を忘れず、半年間積み上げてきた経験と成長を信じてください。地域に寄り添い、住民の信頼に応えられる消防士として、本校卒業生の誇りを胸にその責務を果たしてほしいと思います。

皆さんの今後の活躍を祈念しております。

修了生答辞 (要約)



秋田市消防本部
消防士
工藤 大河

本日ここに私たち53名がこの場に臨むことが出来るのは、校長をはじめ厳しく熱心に指導していただいた学校の皆さまや所属の先輩がた、支えてくれた家族のおかげと感じ心からお礼申し上げます。

日々の厳しい訓練や法令等の座学は予想以上に大変でしたが、仲間と励まし合いながら頑張り、一人の社会人、消防吏員として大きく成長することができました。

近年、地震や異常気象による大雨、土砂災害など各種災害による悲惨なニュースは後を絶ちません。そうした中で、私たちは地域住民の安心安全を守り、困っている人を助けたいという強い思いと使命感を胸に、消防業務に尽力して参ります。

この半年間、消防学校で培ったことを胸に、各地域そして秋田県消防の更なる発展に資することを誓い、答辞といたします。





第 80 期 初任教

半年間を 振り返って

秋田県消防学校

秋田市消防本部 佐々木 桜太

長いようで短かった消防学校での半年間は、学科や訓練を通して多くのことを学び、心身共に成長できました。また、集団生活のなかで仲間と支え合い、切磋琢磨して互いを高め合い、とても良い経験になりました。この経験を糧とし、消防職員としての自覚を持って精進したいと思っています。

大館市消防本部 工藤 佑太

消防学校での半年間を振り返ると、厳しい訓練や規律ある生活を通して、消防士として必要な知識や技術、責任感を学びました。仲間と支え合い、切磋琢磨した経験は自分を大きく成長させてくれました。これから学ぶ姿勢を忘れず、信頼される消防士を目指して努力していきます。

北秋田市消防本部 菊地 秀虎

消防学校での半年間を振り返って、消防士として必要な技術や知識だけでなく、規律や協調性の大切さを学んだ。難しい授業や厳しい訓練

もあつたが、同期と切磋琢磨し、励まし合いながら乗り越えることが出来た。この経験を生かして、信頼される消防士を目指していきたい。

由利本荘市消防本部 本間 凜子

地元を離れて不安もあつたけれど、あたたかい方々とたくさん出会って、たくさん助けてもらった。一人前の消防士として由利本荘市や秋田県のために尽力することで恩返しをしたい。素敵な同期や教官に出会え、楽しい半年間だった。一番嬉しかったことは懸垂ができるようになったこと。

にかほ市消防本部 菊地 叶聖

訓練に明け暮れた半年間の学校生活を通して、心身共に大きく成長できたと実感しています。ここで培った多くの知識と確かな技術を武器に、実際の現場でも一刻を争う事態に果敢に立ち向かい、一人でも多くの人を救えるよう日々精進していきたいです。

横手市消防本部 泉谷 悠和

消防学校での厳しい訓練や慣れない環境の中で、心身ともに成長することができました。また、仲間と同じ目標に向かって努力したことで、支え合うことの大切さも学びました。初心を忘れず、常に向上心を持

ち続け、信頼される消防職員になれるよう、これからも精進していきたいです。

五城目町消防本部 船木 大史

半年間の消防学校生活では、訓練だけでなく、規律ある生活や集団行動の大切さを学びました。時には思うようにいかず悩むこともありましたが、同期と励まし合いながら最後までやり遂げることが出来ました。この経験を胸にこれからも初心を忘れずに努力していきたいです。

鹿角広域消防本部 平 誠也

四月からの半年間で本当に大切なものを多く得ることができた。もちろん強い精神力や身体をつくることができたのもあるが、何よりも一つの寮で寝食をともにして、毎日のハードな訓練も一緒に乗り越えてきた仲間ができたという事が一番の財産だと思う。これからも支えになる経験だった。この半年間を忘れることはないだろうと思う。

能代山本広域消防本部 北村 琳

消防学校での半年間を通じて、消防士として大切な知識や技術だけでなく、規律や協調性の大切さを学びました。職務経験者としてこれまでの経験を生かしつつ、初心を忘れずに訓練に励みました。仲間と支え合

った経験を糧に、今後も市民から信頼される消防士を目指します。

男鹿潟上消防本部 伊藤 大洋

消防学校での半年間は、とても内容の濃い充実した日々であった。消防職員として必要な知識や技術、規律を学ぶことができた。また、他の学生との集団生活や訓練での部隊活動を通して、信頼関係を築く難しさや大切さを学ぶことができた。市民の生命、身体及び財産を守るように、自分に厳しく訓練や勉学に励みたい。

大曲仙北広域消防本部 菅原 大翔

はじめは寮生活に不安があり訓練も苦戦する日々でした。日にちを重ねるごとに訓練を通じて同期や教官と交流し徐々に打ち解け、山形県交流大会や山岳訓練等の行事も一致団結し忘れられない思い出となりました。所属に戻っても学校で教わった基本を大切に、仲間意識を忘れず頑張ります。

湯沢雄勝広域消防本部 佐藤 健心

消防学校での半年間を通して、体力や技術だけでなく、消防士としての責任感や仲間と協力する大切さを学んだ。訓練の中で失敗を重ね、何度も落ち込んだり、挫折することが多くあった。しかし、仲間と教え合

い、励まし合うことで辛いことも乗り越えられた。周りから頼られる消防士を目指したい。





8月23日(日)に開催された「天王グリーンランドまつり2026」において、潟上市消防団では花火の火気警備を行いました。

天王グリーンランドまつりは、地域の夏の風物詩として親しまれているイベントで、約2万5千人の来場者でにぎわいます。潟上市内からはもちろん、市外からも多くの来場者が訪れます。特に花火の打ち上げ時

支部情報アラカルト

天王グリーンランドまつりにおいて花火の火気警備を実施しました

には、多くの観客が会場に集まることから、火災の防止と来場者の安全確保が重要となります。

消防団員は、花火の打ち上げ場所周辺を巡回し、火気の監視や警戒にあたり、万が一の火災や事故の発生に備え、迅速に対応できる体制を整えました。

楽しいまつりの時間を安心して過ごしていただけるよう、消防団員は会場の安全を陰から支えています。今後も地域の行事に積極的に参加し、市民の皆さんの安全・安心を守る活動が続けていきます。

〔情報提供〓男鹿潟上南秋支部〕



火災の発生状況(速報値)

(秋田県総合防災課消防保安室調べ)

	令和8年		令和7年			同期比較	
	9月	累計	9月	累計	年計	9月	累計
建 物	8	107	18	130	186	-10	-23
林 野	0	19	0	7	7	0	12
車 輛	3	29	0	21	28	3	8
その他	3	77	1	46	54	2	31
合 計	14	232	19	204	275	-5	28
死者数	0	13	3	12	16	-3	1
負傷者数	2	25	0	44	51	2	-19

